

15 歳から 25 歳の間血液腫瘍と診断された現在 40 歳未満の皆様へ

“思春期・若年成人世代の血液腫瘍患者への情報提供の在り方と支援に関する研究”の研究協力をお願い

兵庫医科大学病院血液内科 大杉夕子

このページを見ていただいている皆さんは、現在、治療をされている方、治療が終わって 5 年、10 年経った方、様々で、今も、いろんな思いで過ごされている事と思います。診断からこれまで、治療、副作用や合併症、再発、復学、社会復帰、就職、いろんな場面で悩み、頑張ってきたと思いますが、私たち医療者からもっと説明してほしい事、ききたいけれど質問できなかった事、助けてほしかった事がたくさんあったのではないかと思います。

今回のアンケートでは、皆さんの治療されていたときの事、今の状況や思われていることとお聞きします。今後の患者さんへの情報提供や支援のあり方の改善につなげていけたらよいと思っています。

我が国のがん対策（第 3 期がん対策推進基本計画（平成 30 年 3 月 9 日閣議決定））において、15 歳から 39 歳の思春期・若年成人（adolescent and young adult; 以下 AYA）世代のがん医療の充実が重要課題の一つとして取り上げられています。しかし、この世代の全がん患者に占める割合は 2.5%と少なく、AYA 世代がん患者の現状の把握や検討が不十分であるため、具体的な支援策は乏しいという現実があります。

AYA 世代は進学、就職、結婚、出産など社会的変化が多く、医療者は治療のみならず、退院後の社会生活の問題についても十分な情報提供を行い患者に対応する必要があります。中でも思春期世代（A 世代）は社会的に未熟であるため気持ちの表出が不得手な事が少なくなく、自らの意思を表出し、意思決定を行う機会が十分に与えられない場合があります。AYA 世代のがん患者さんに対してどのように病状説明を行うか、患者さんが望む情報提供の在り方はどのようなものか、具体的に示すことができれば患者さんとのコミュニケーションを促進できると考え、今回の研究に至りました。

多種の腫瘍を対象にしますと治療の内容が結果に影響を及ぼす可能性がありますので、今回は、対象を血液腫瘍にしぼりアンケートを行わせていただきます。

お願いしたい事

下記の文章を読んでいただき、QR コードを読みとってアンケートにご協力ください（Web が苦手な方は手書き用のアンケートをご用意しています。必要な方は研究代表者の連絡先にお問い合わせください）。体調によっては負担に思われるかもしれません。体調の良い日を選び、休みながらお答えください。お一人おひとりの声が役に立ちます。

ご協力よろしくお願い致します。

研究代表者

兵庫医科大学病院 血液内科（平日 10 時から 16 時）

大杉夕子

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町 1-1

Tel: 0798-45-6886

yu-oosugi@hyo-med.ac.jp